

吹田市総合防災センター

建築場所 大阪府吹田市佐竹台1丁目6-3

建物概要 CFT造 地上10階 地下1階 16,809.97m²

工事概要 新築工事

竣工年月 2024年12月

事業者 吹田市

設計監理 株式会社あい設計

施工者 鴻池・堀田特定建設工事共同企業体

(環境配慮)

太陽光発電、昼光センサー、中水(雨水、井水)利用、高効率空調機、屋上緑化、
Low-E複層ガラス等の導入
CASBEE Aクラス

(木材活用)

天井ルーバー、腰壁、カーテンウォールに地場(能勢町)産材を活用
床材にフローリングを使用

(生産性向上・DX)

BIM活用による納まり確認、干渉チェック、施工計画
ビジネスチャットによるグループ内情報共有
入退場確認ボットによる現場職員の入退場確認

(防災・減災)

浸水高さを考慮した床レベルの設定
非常用発電導入、雨水・井水活用、汚水貯留槽の設置等でライフライン途絶時の機能維持
免震構造の採用

(その他)

ヘリポートを設置した緊急救助用スペースの確保

外觀



吹抜 訓練スペース



4階 事務室



4階 談話コーナー



9階 ホワイエ



10階 待合



吹田市総合防災センター（DRC Suita）



事業の経緯

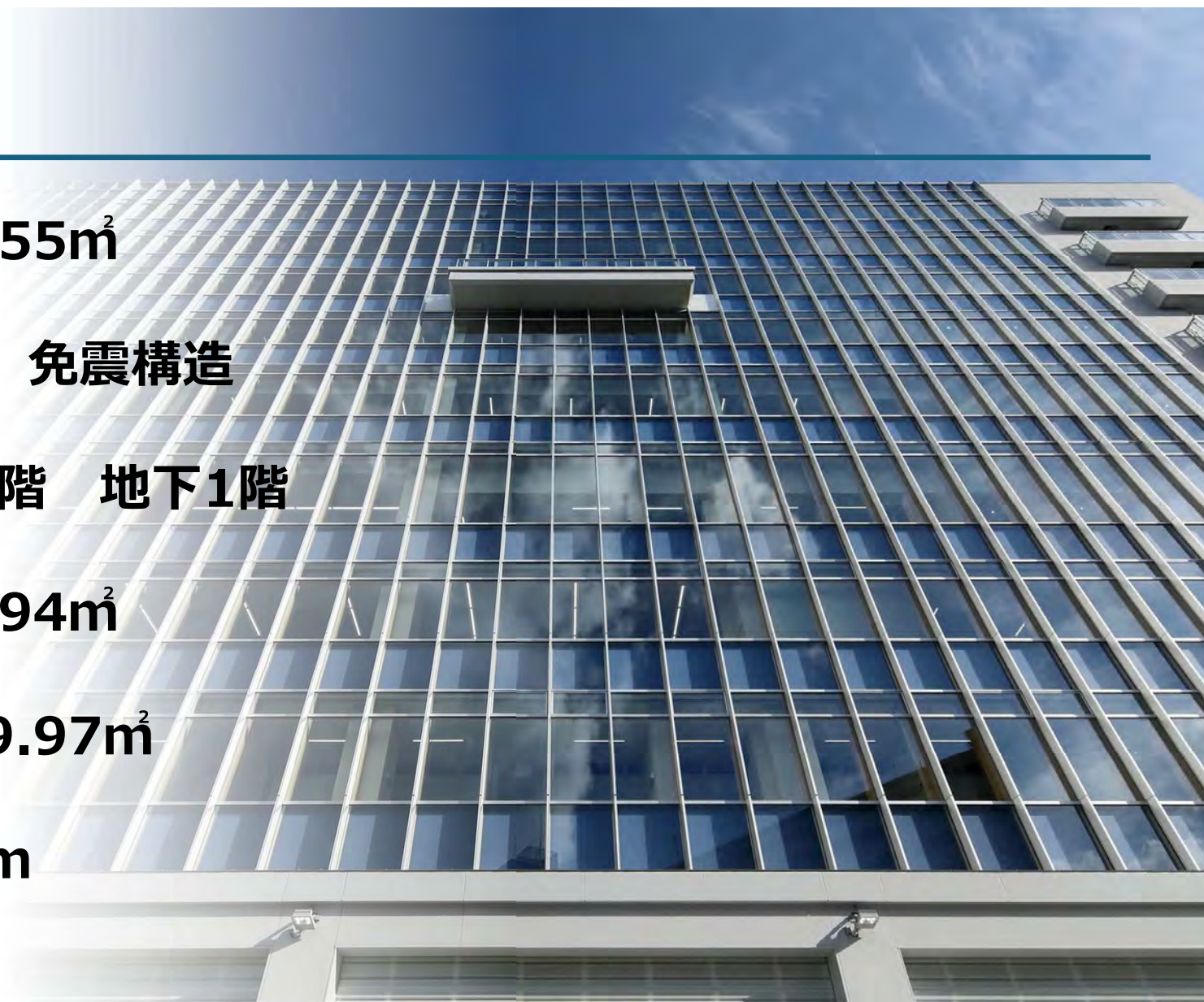
- 北消防署の建替え検討開始
- 南千里庁舎の老朽化等の対策検討開始
- 新複合施設建設用地取得
- 新複合施設に設置する機能の決定
- 北部消防庁舎等複合施設建設推進委員会設置
- 基本構想・基本計画策定着手

事業スケジュール

- 平成30年度
基本構想・基本計画策定 (株)都市環境設計)
- 令和元年度～令和2年度
基本・実施設計 (株)あい設計 大阪支社)
- 令和3年度～令和6年度
建設工事 (鴻池・堀田組JV)
- 令和6年 4月 部分引渡しにより開設
- 令和6年12月 工事完了

建物の概要

- 敷地面積 : 3,863.55m²
- 構造 : CFT造、免震構造
- 階数 : 地上10階 地下1階
- 建築面積 : 2,355.94m²
- 延床面積 : 16,809.97m²
- 最高高さ : 44.86m



施設の整備方針

- 災害対応拠点として、大規模災害時にも機能維持が可能な施設計画
- 機能性を重視した合理的で誰もが利用しやすい施設計画
- 地球環境に配慮した施設計画



■ 災害対応拠点としての施設整備

- ・ 大地震時の建物への被害を最小限に抑えるため、免震構造を採用
- ・ 災害時、上下水道が途絶えた場合に備え、必要水量の確保（雨水井水）、汚水貯留槽の設置



免震装置（積層ゴム支承）



免震装置（減衰こま）

■ 災害対応拠点としての施設整備

- ・ 屋上にはヘリコプターのホバリングができる
緊急救助用スペース
- ・ 災害対応拠点として、主要諸室の空調、照明、コンセントなど
自家発電設備により非常電源を確保

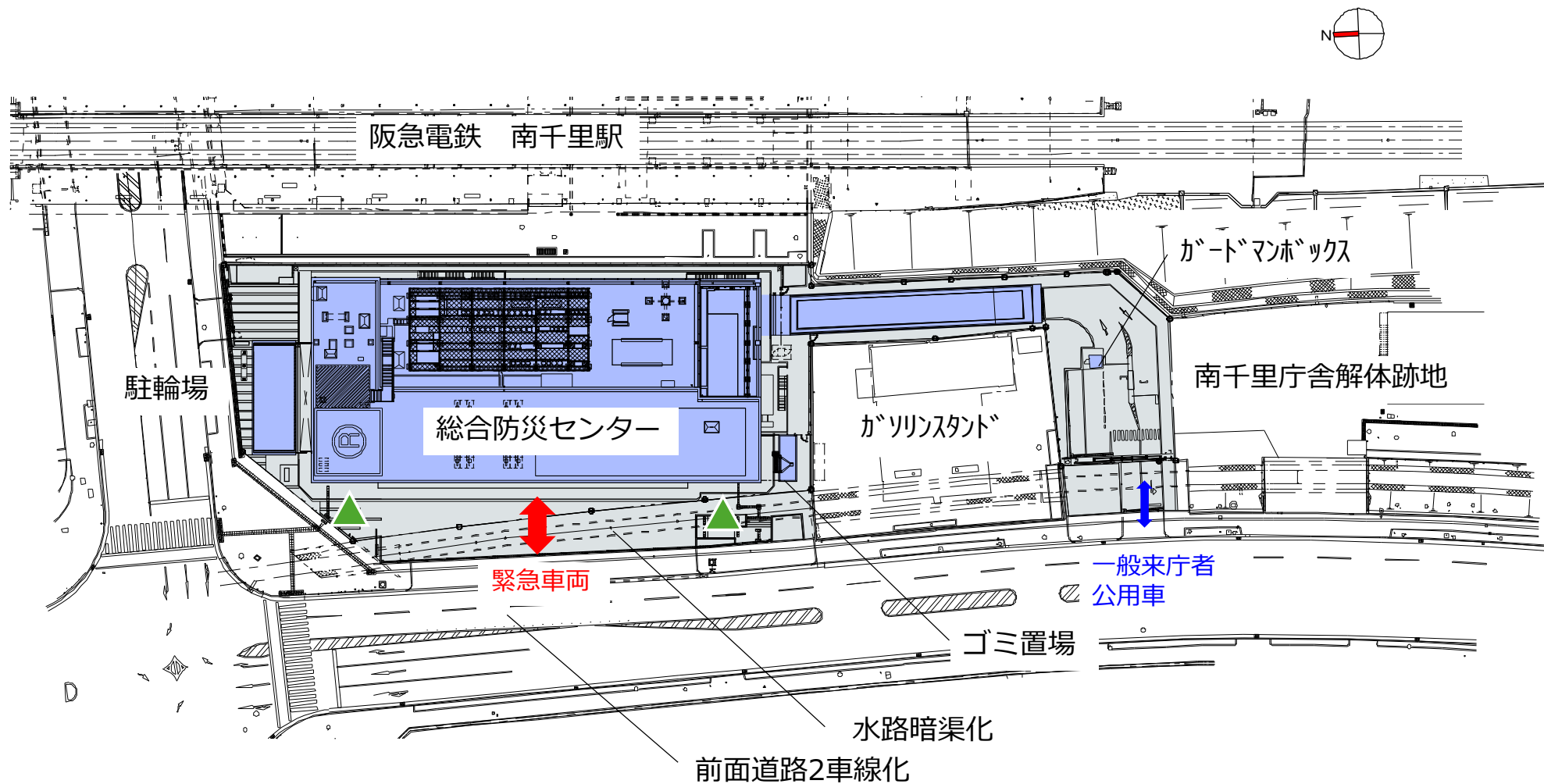


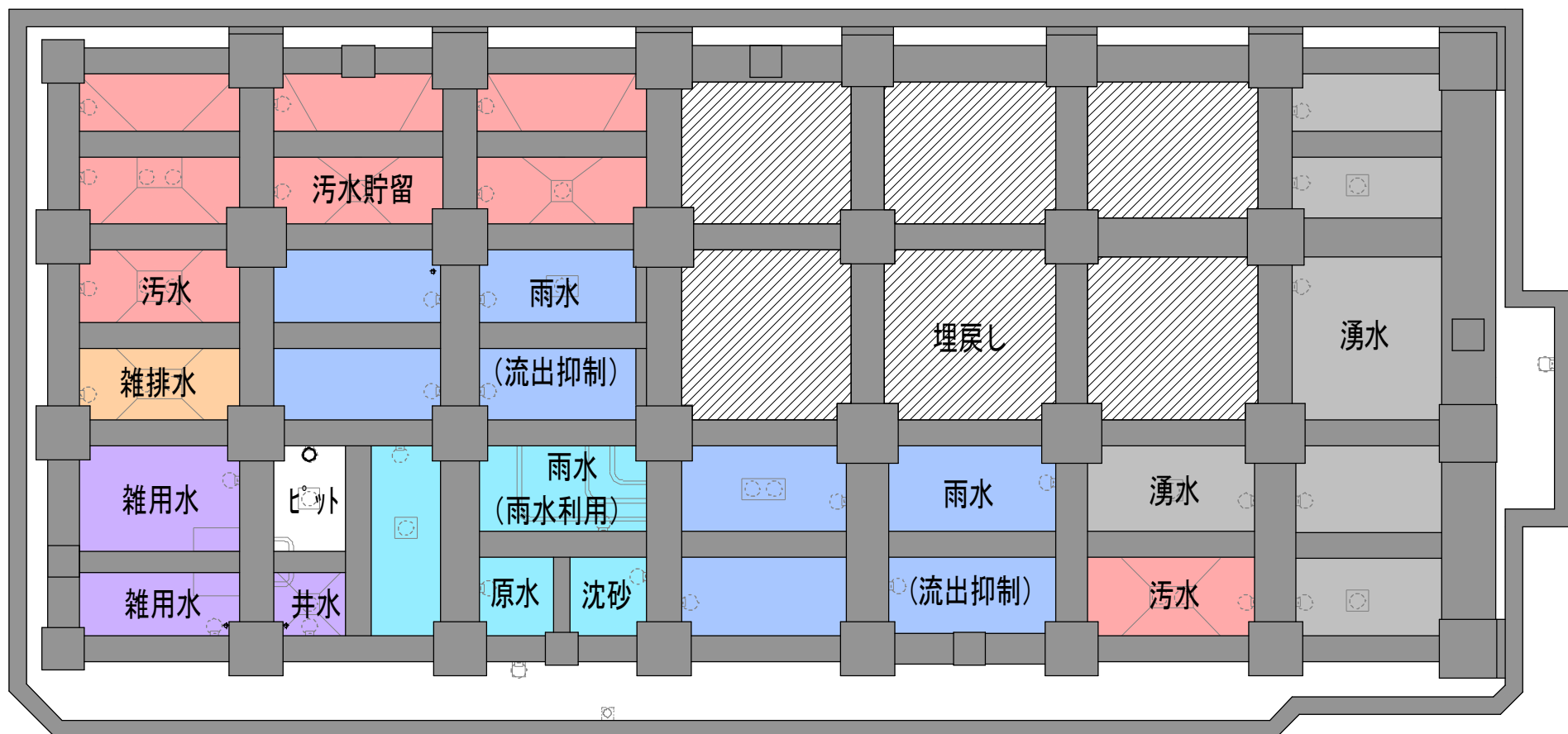
屋上ヘリポート



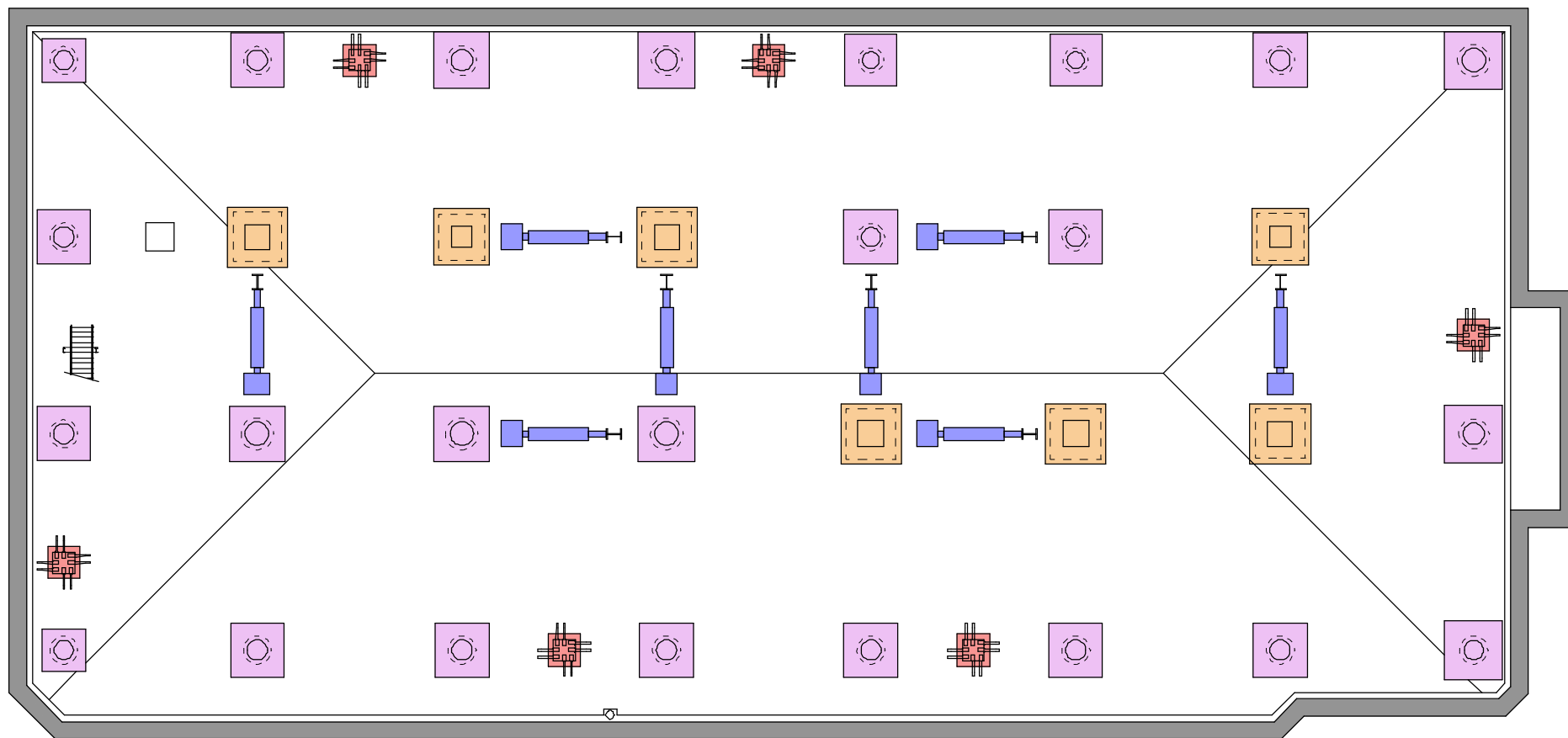
自家発電設備

■ 機能性を重視した施設計画





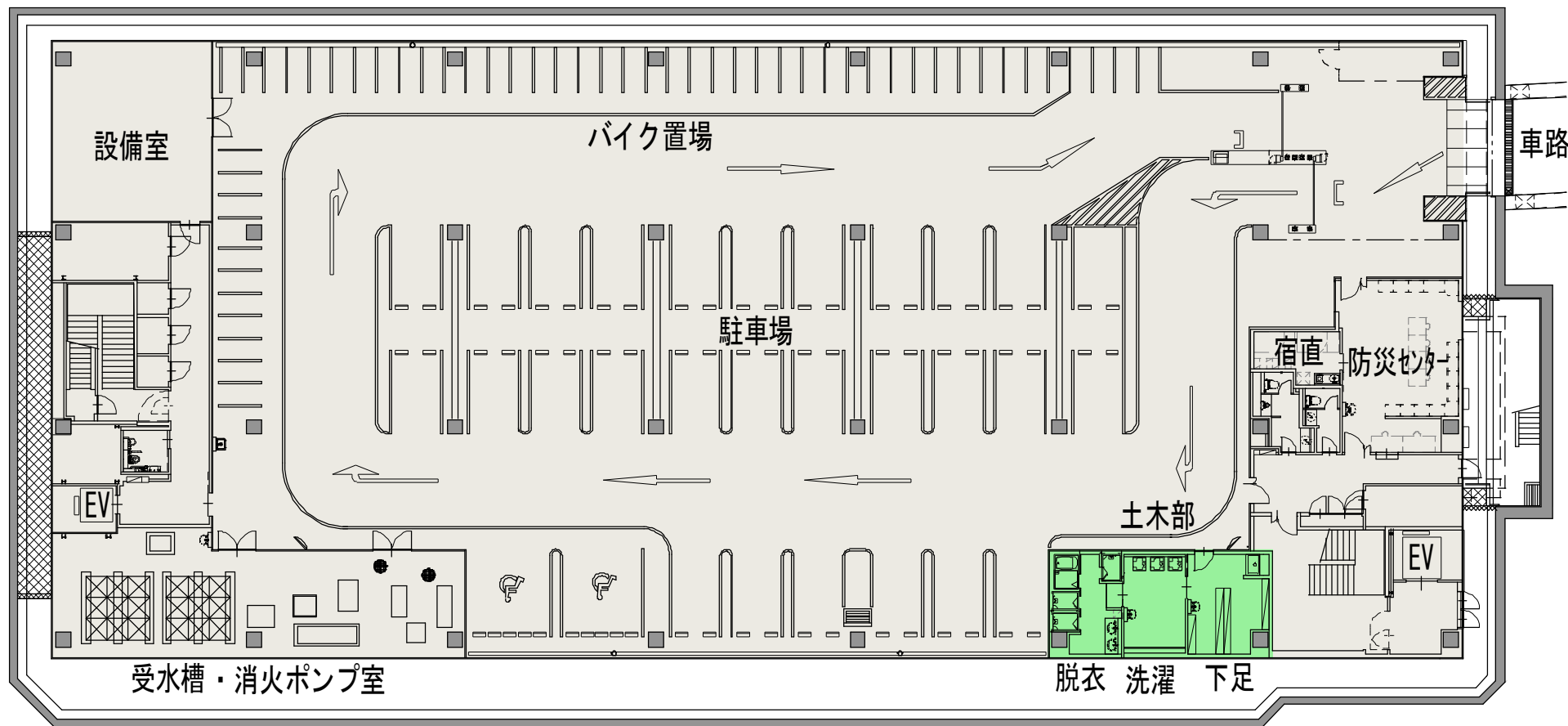
ピット平面図



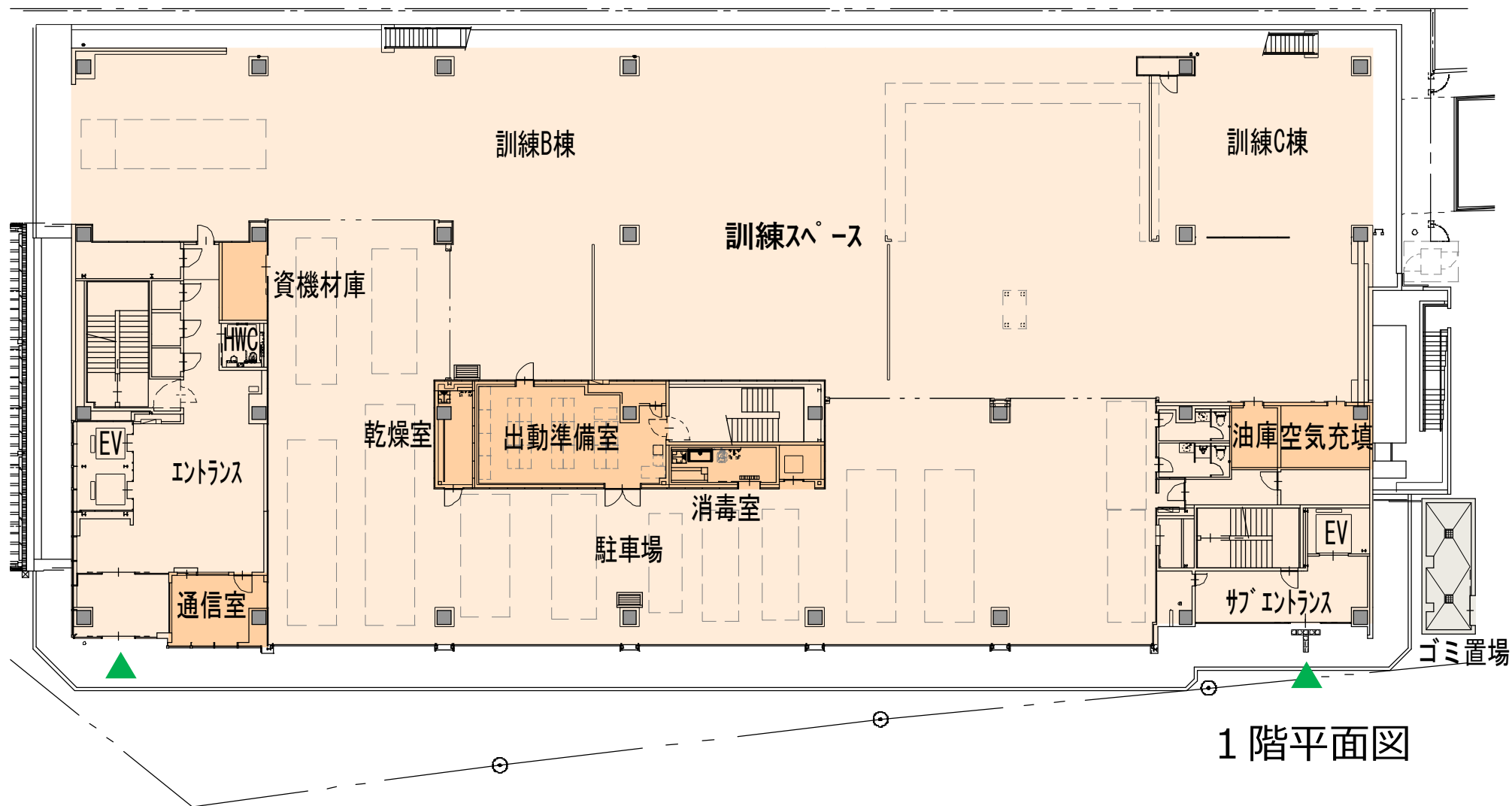
 積層ゴム支承
 弾性すべり支承

 減衰こま
 U型ダンパー

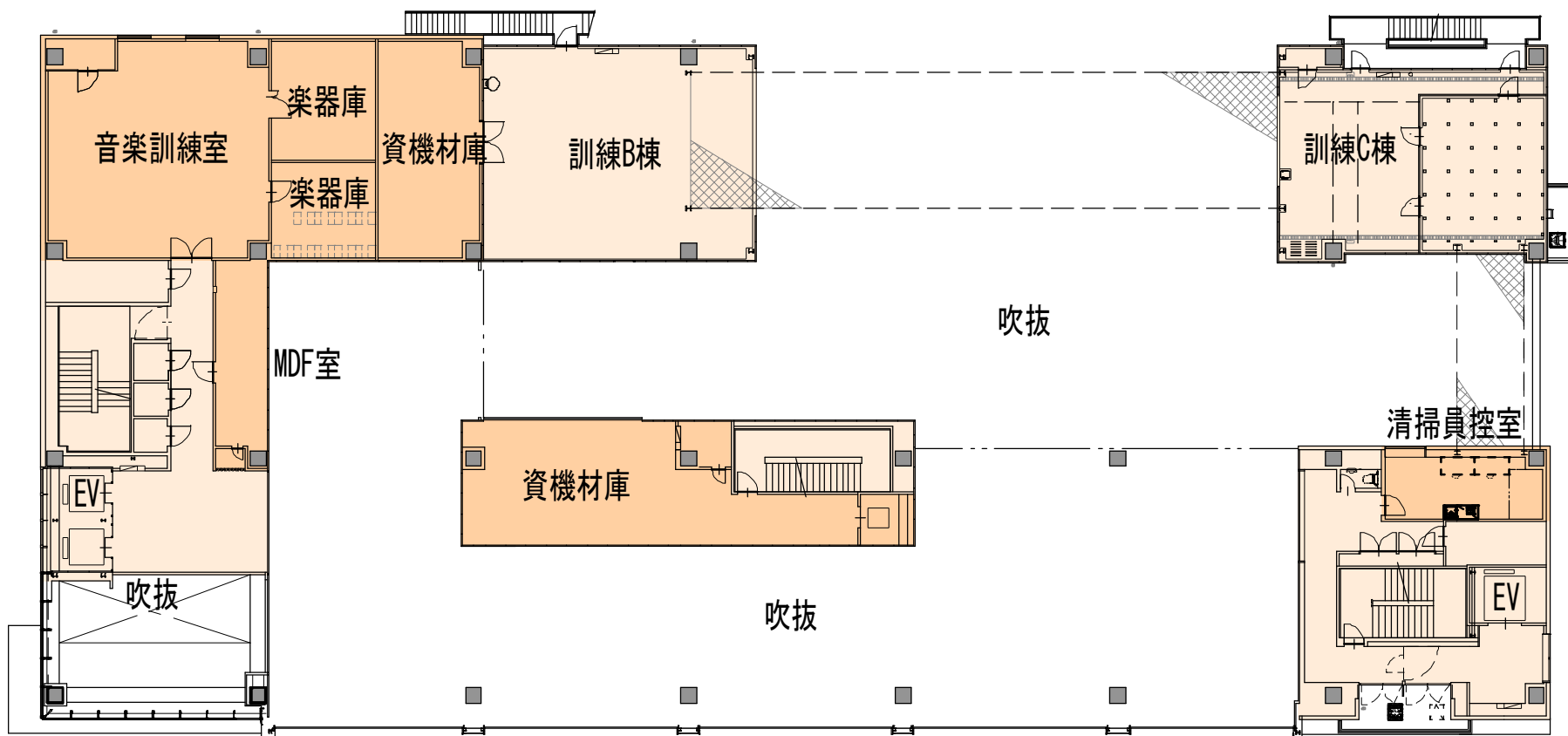
免震層平面図



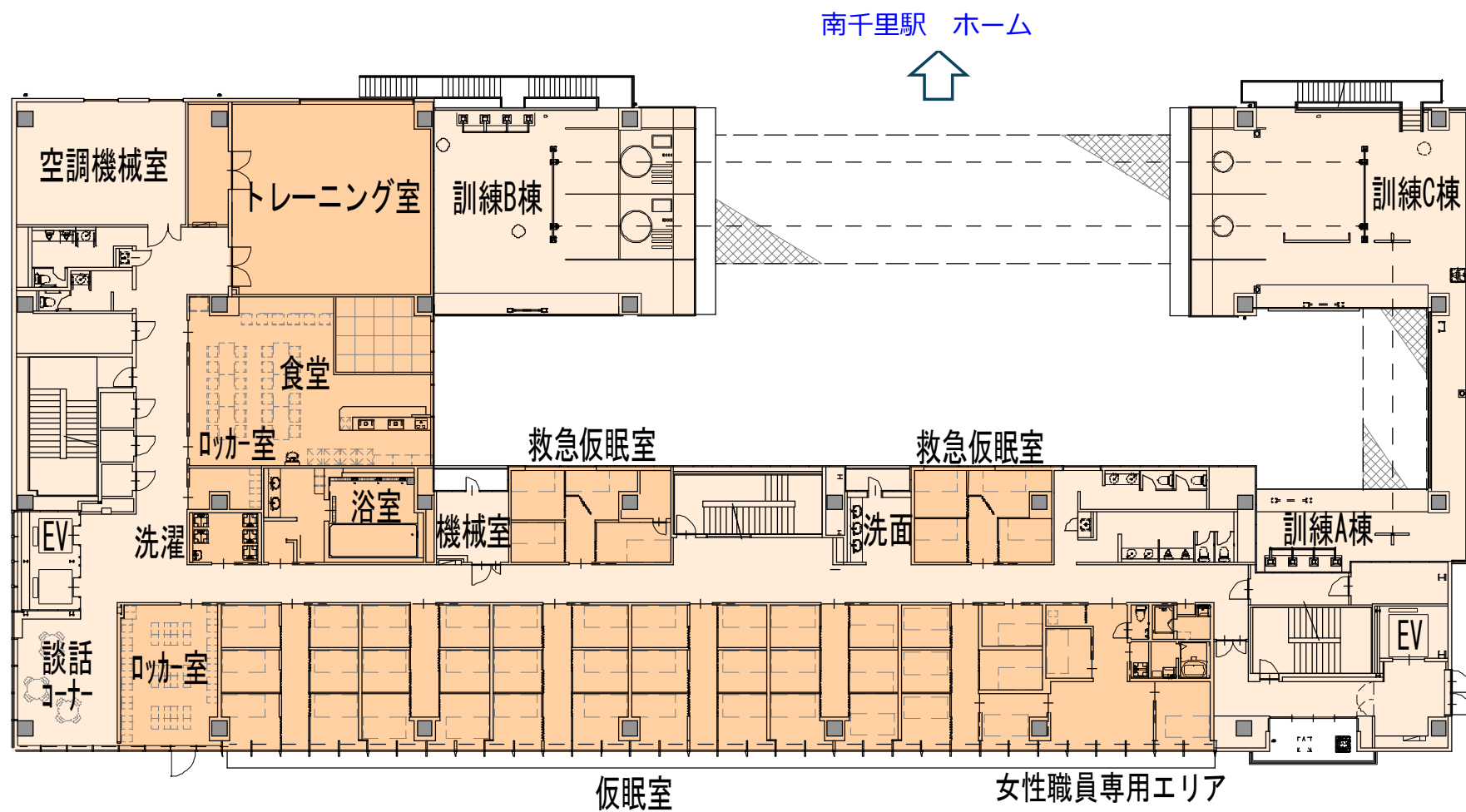
B 1 階面図



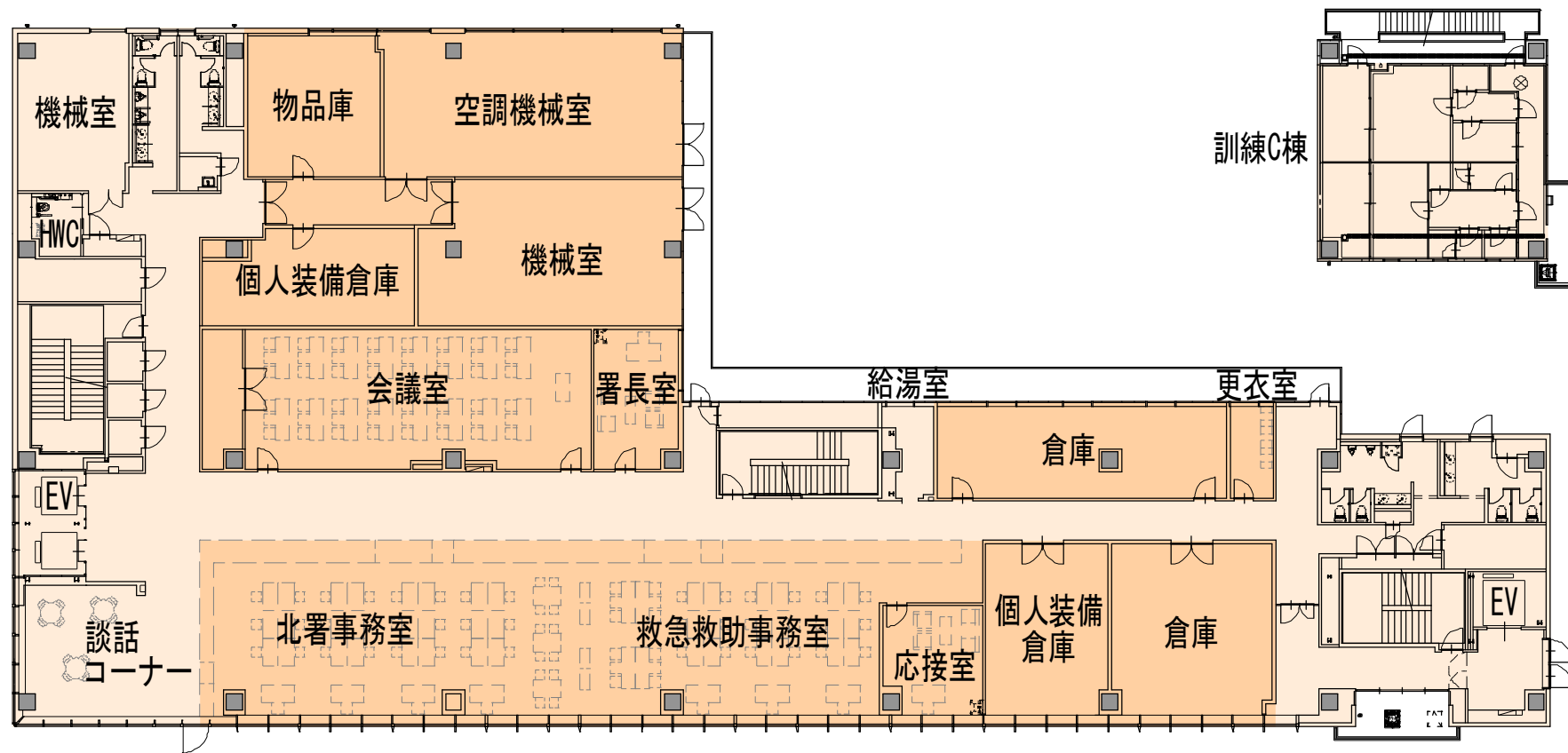
1 階平面図



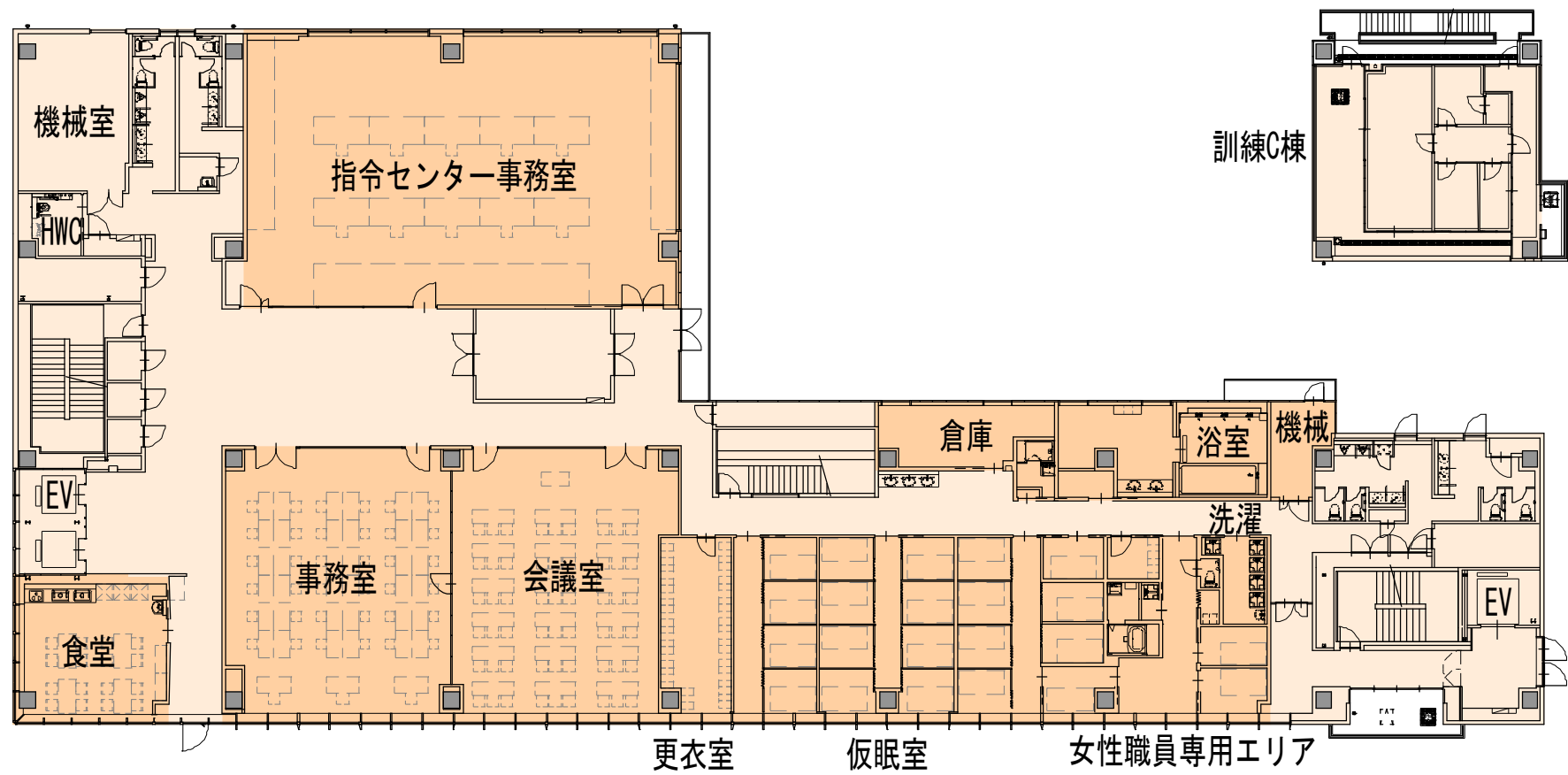
2 階平面図



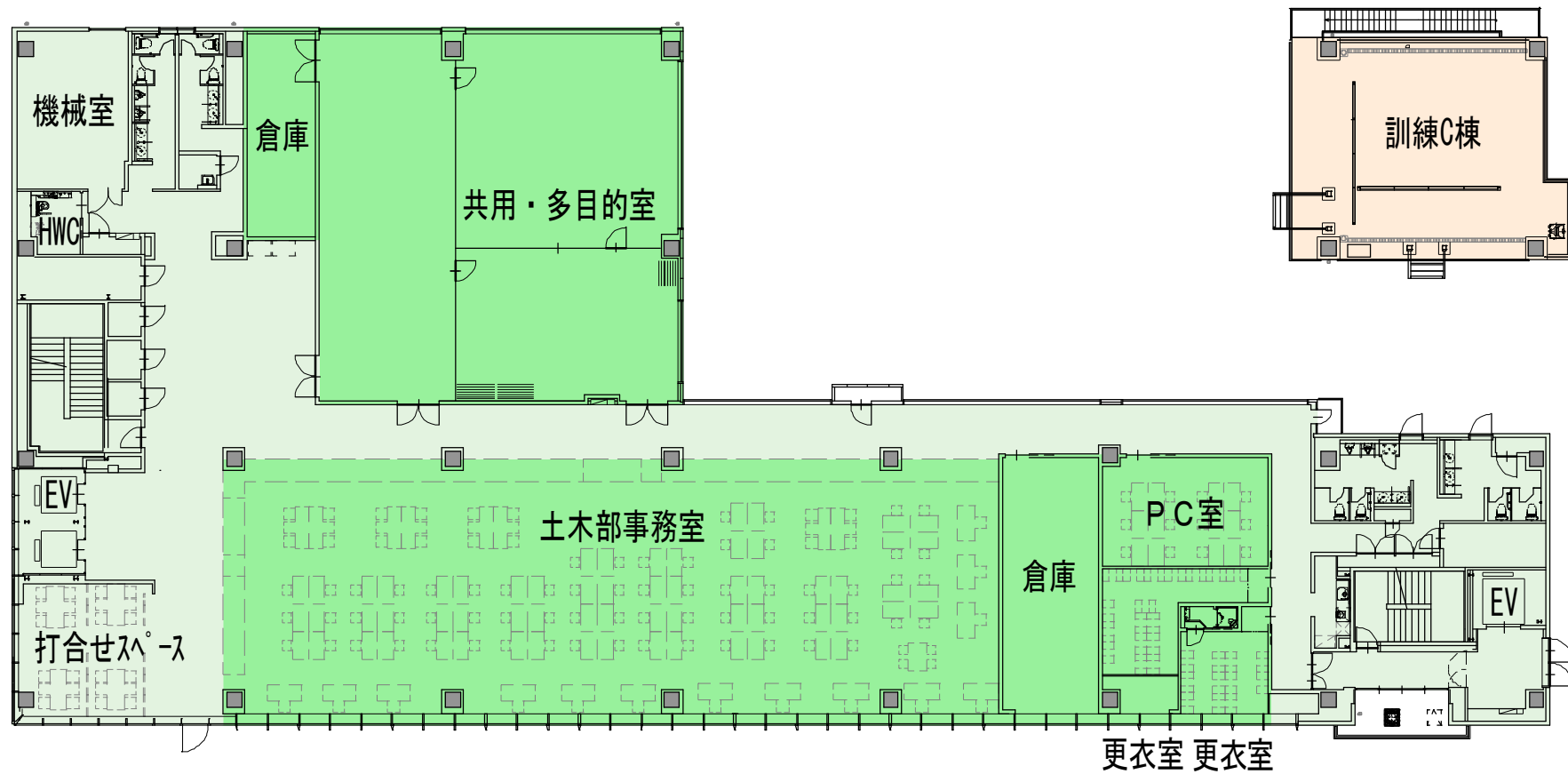
3 階平面図



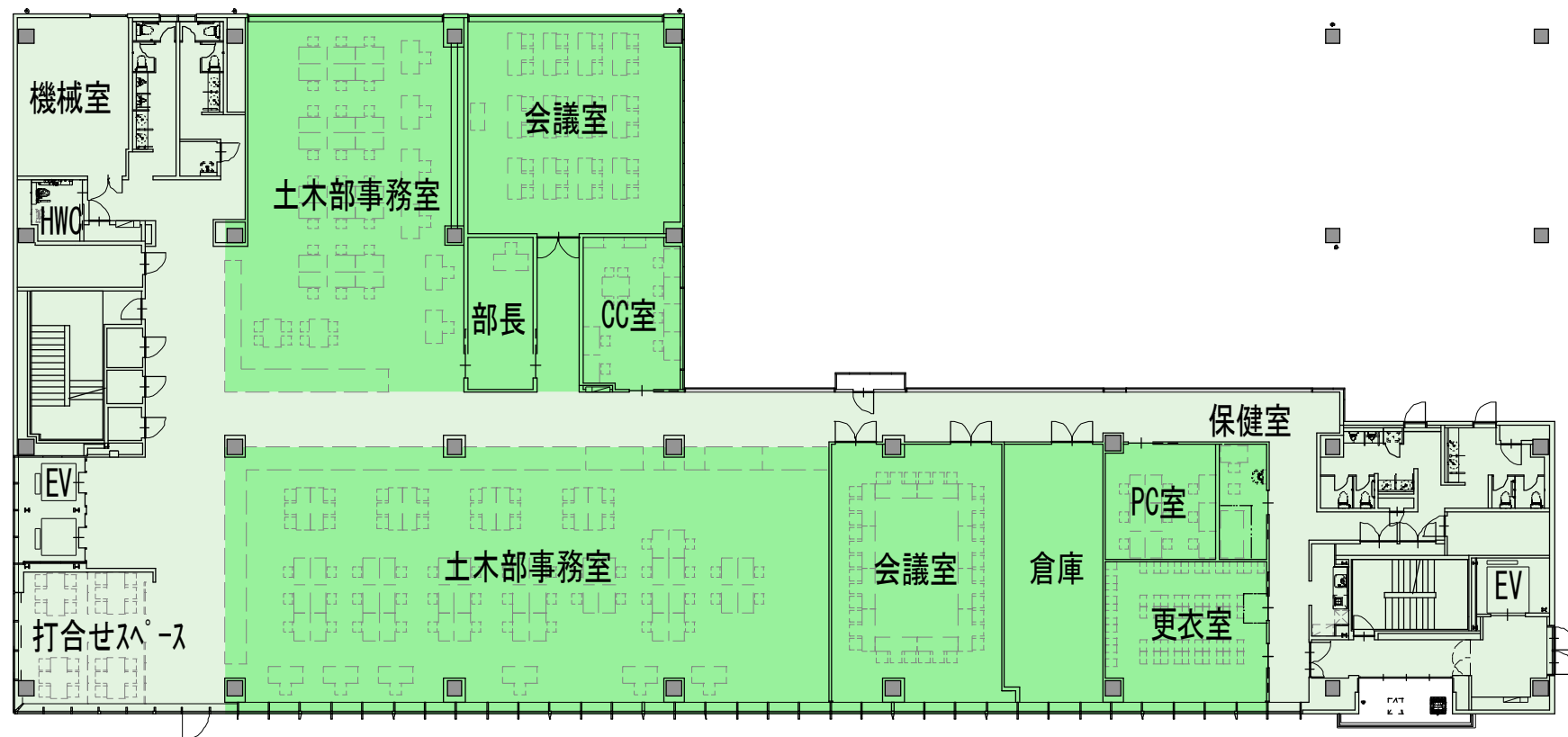
4 階平面図



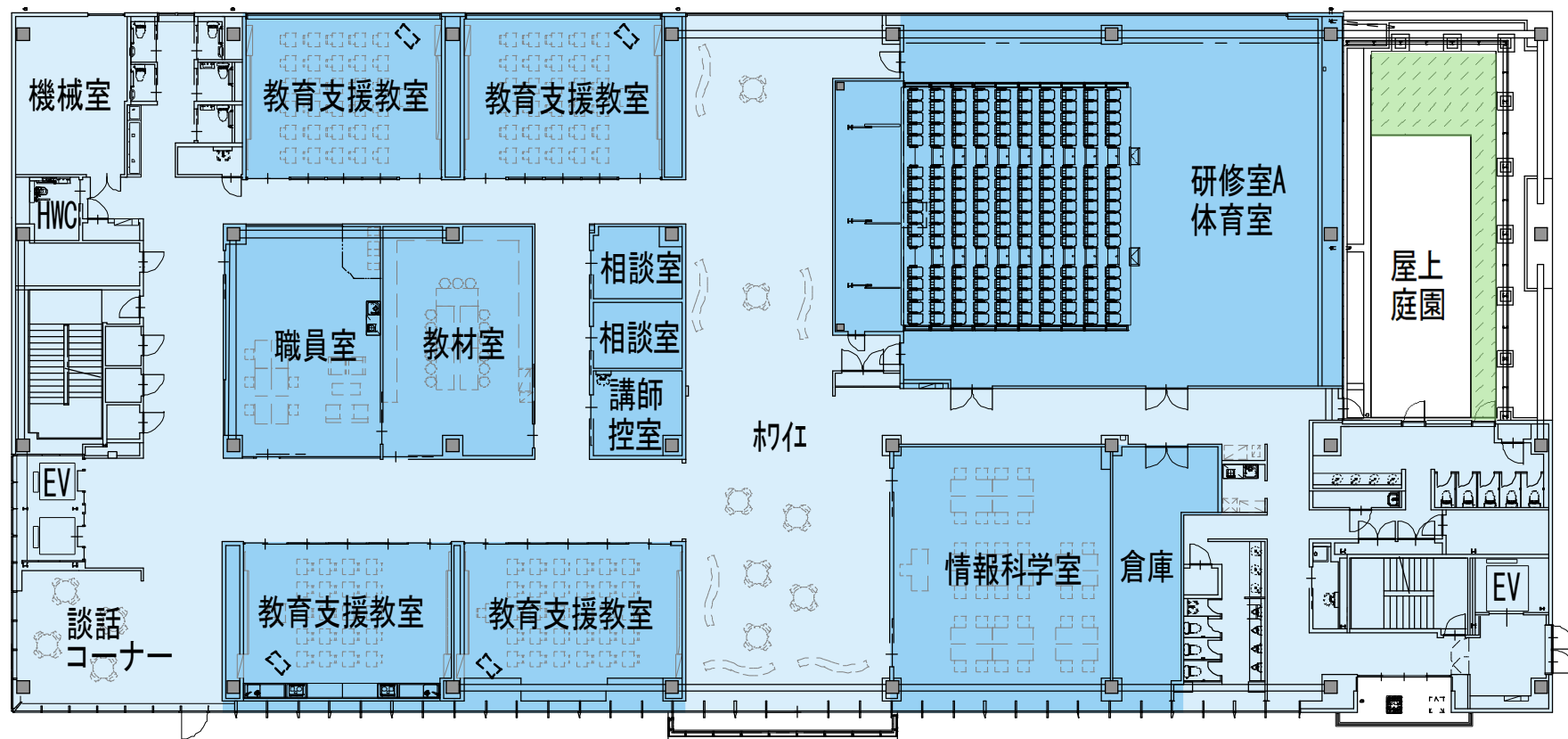
5 階平面図



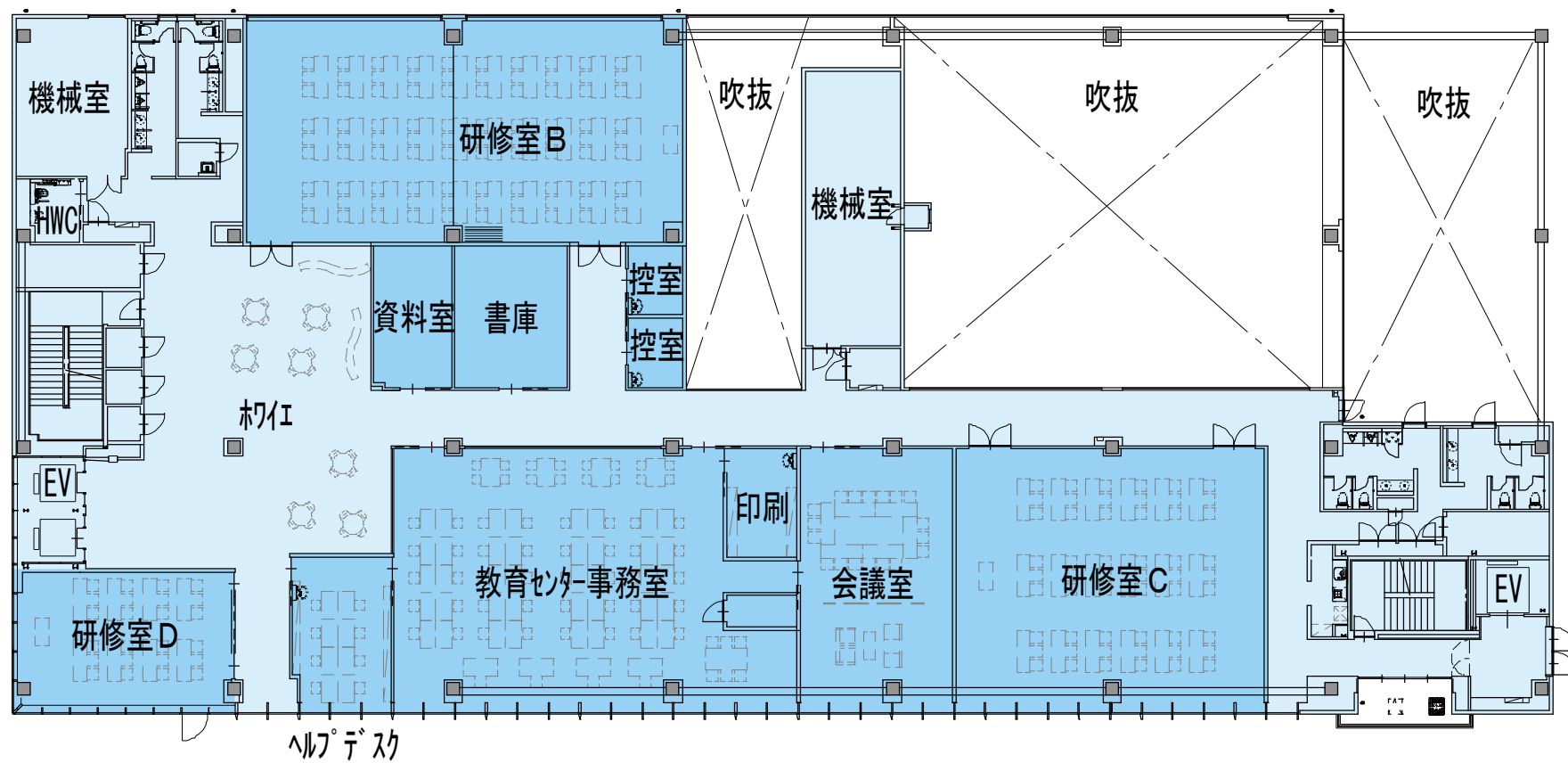
6 階平面図



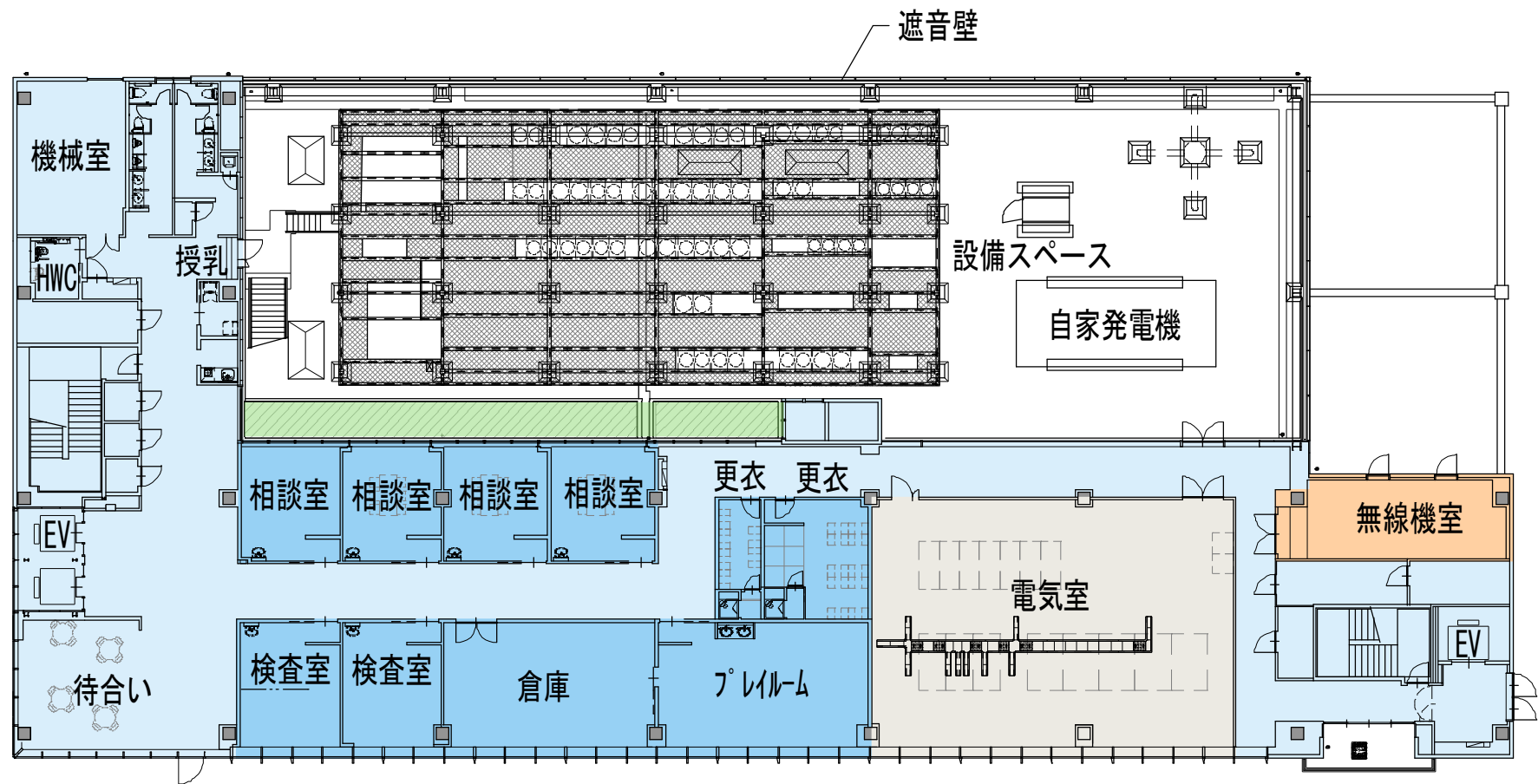
7 階平面図



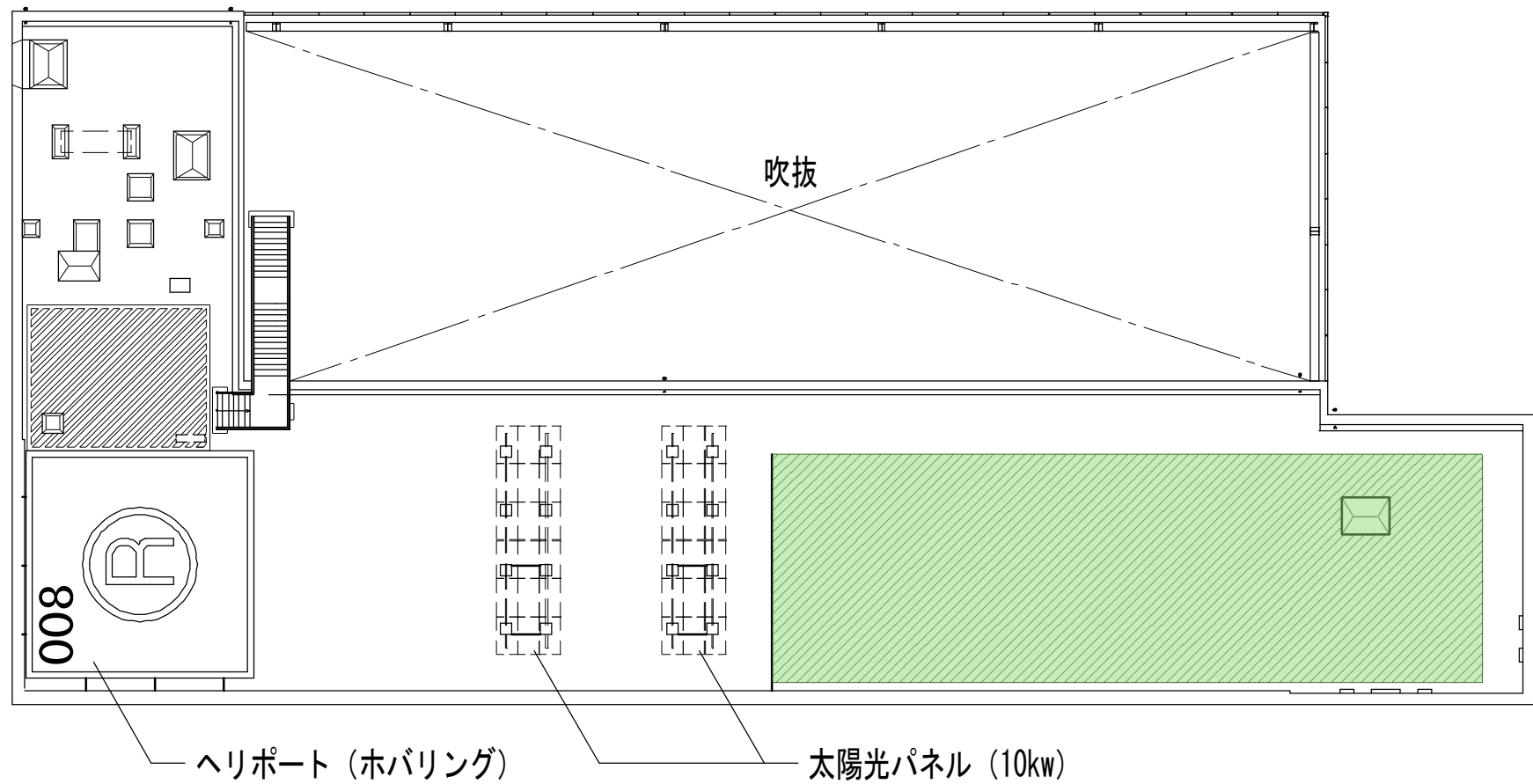
8 階平面図



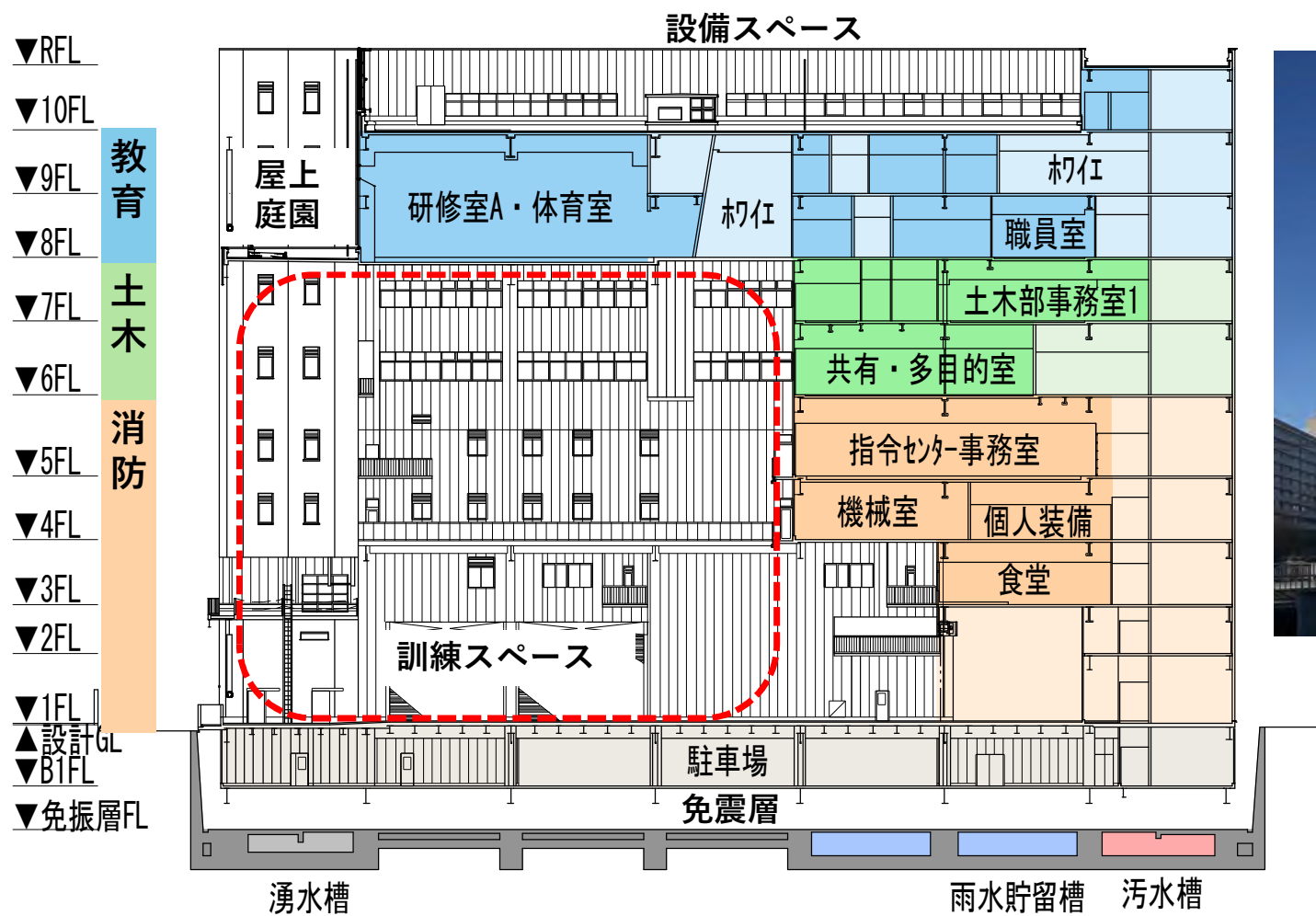
9 階平面図



10階平面図



R 階平面図



断面図

■ 地球環境に配慮した施設計画

- ・ 太陽光発電・高効率空調機・昼光利用照明等による環境配慮
- ・ 大阪府内産木材を採用し、循環型社会の形成に貢献



天井木製ルーバー



木製腰壁

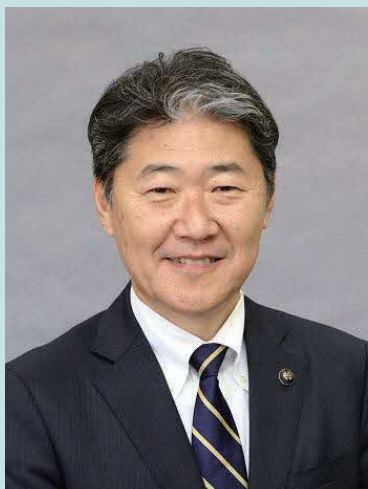
吹田市総合防災センター

Disaster Reduction Centre Suita



吹田市

ご挨拶



吹田市長 後藤 圭二

このたび、吹田市総合防災センターが完成いたしました。これもひとえに、多くの皆様のご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

本センターは、消防本部、土木部、教育センター等で構成される複合施設であり、市民の命と生活を守るために重要な役割を果たす施設となると確信しております。

今後も更に、「安心安全の都市(まち)づくり」の実現に向け、自助・共助・公助を担う様々な主体がそれぞれの特性を活かした地域防災力の向上や、近隣自治体との連携を進めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



吹田市議会議長 野田 泰弘

吹田市総合防災センターの完成を心からお祝い申し上げます。

複数の部局で構成されるこの施設が、多分野で本市行政に大きな役割を果たされることを期待いたします。また、南千里駅前の新たなランドマークとして、市民の皆様に長く親しまれる施設となりますよう願っております。

本施設の完成を契機に、38万人の市民が安心して暮らせるまちづくりのため、職員の皆様にはなお一層奮起いただくことを願いますとともに、本施設の竣工に御尽力いただいた関係各位に敬意と感謝の意を表し、お祝いの言葉とさせていただきます。

施設概要

阪急南千里駅西側に位置する「吹田市総合防災センター(通称：DRC Suita)」は、北消防署、北大阪消防指令センター、高度救助隊などの消防機能、土木部行政機能、教育センター機能及び市災害対策本部代替機能を有し、災害時は本市北部の災害活動拠点となる複合施設です。

この施設は、免震構造の採用による構造的な安全性の確保と、2回線受電や72時間対応の自家発電設備の設置など、大規模災害時にも機能維持が可能な施設です。

駅のホームから消防訓練エリアを直接見渡せるという立地を生かし、訓練エリアはできるだけオープンな構成とし、市民の防災意識や安心感の向上も目的の一つとなっています。

また、みどり豊かな千里ニュータウンに位置する施設として、周辺の環境との調和や景観も意識し、建物正面の内部に縦型木製ルーバーを採用し、太陽光発電・高効率空調機・昼光利用照明等環境にも配慮しました。

所在地

大阪府吹田市佐竹台1丁目6-3

連絡先

吹田市北消防署 電話番号 06-6872-0766

吹田市土木部 電話番号 06-6872-1651

吹田市教育センター 電話番号 06-6170-1575

案内地図



- ・ 阪急千里線 南千里駅 下車すぐ
- ・ 北大阪急行 桃山台駅 下車
徒歩約17分（約1.2キロメートル）



市北部の防災活動拠点

本庁舎の災害対策本部の代替機能を有した災害対応拠点としての側面を持ちます。災害対応拠点としての活動を行う諸室には自家発電設備によって機能維持を行います。屋上には、大規模災害時の消防隊員救助活動や移動のために、ヘリコプターのホバリングスペースを設けています。

また大地震時に建物への被害を最小限に抑えることができる免震構造を採用しています。



緊急救助用スペース



自家発電装置



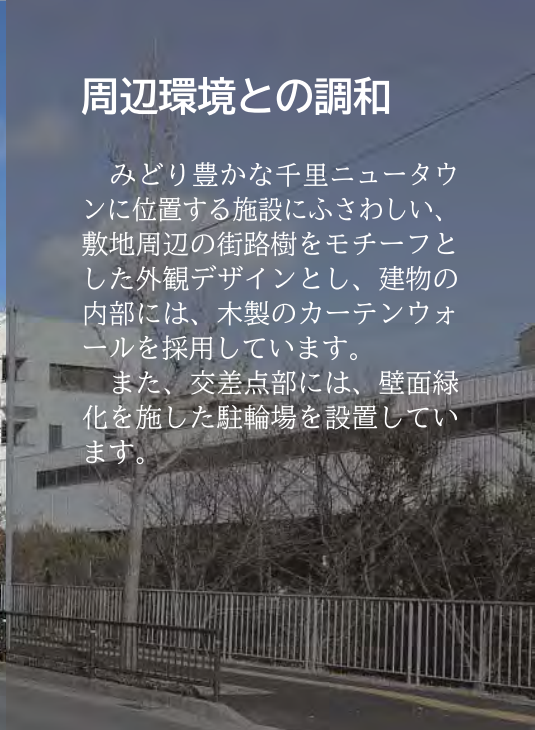
U字ダンパー(免震装置)



積層ゴム支承(免震装置)



敷地を臨む道路のイチョウ並木



周辺環境との調和

みどり豊かな千里ニュータウンに位置する施設にふさわしい、敷地周辺の街路樹をモチーフとした外観デザインとし、建物の内部には、木製のカーテンウォールを採用しています。

また、交差点部には、壁面緑化を施した駐輪場を設置しています。



エントランス



木製のカーテンウォール



壁面緑化を施した駐輪場

消防機能

迅速かつ安全な出動態勢とすることを原則としており、1階に消防車両の車庫や出動準備室を配置しています。2階に消防音楽隊の訓練室、3階に消防職員用の仮眠室や食堂、トレーニング室を配置し、4階に北消防署と救助隊の事務室を配置しています。また、5階には吹田市・豊中市・池田市・箕面市・摂津市の5市による北大阪消防指令センターを設置しています。



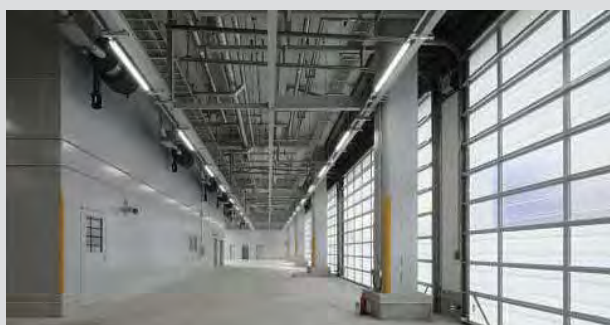
訓練塔は南千里駅のホームから見渡すことができます。



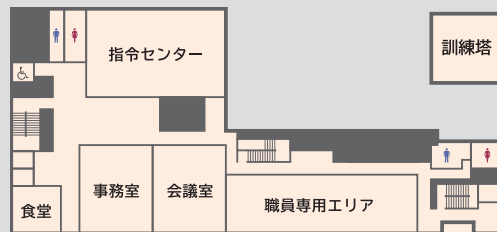
仮眠室



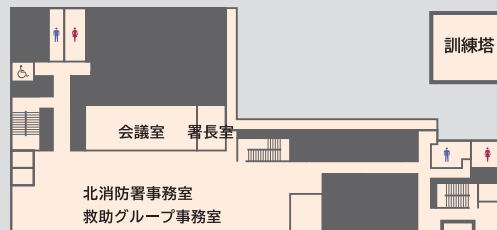
5F 指令センター



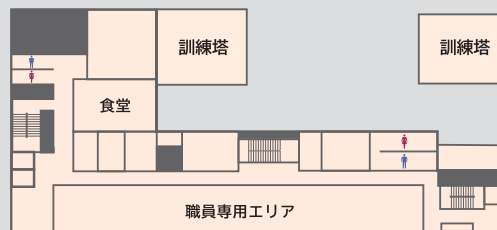
1F 消防車両車庫



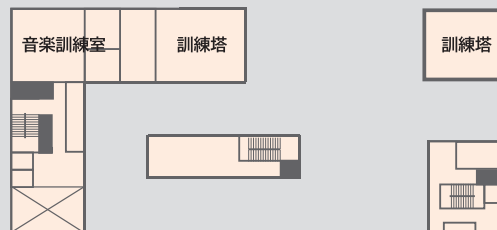
指令センター専用エリア
事務室・仮眠室・食堂等



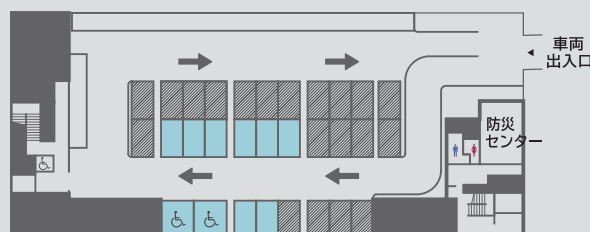
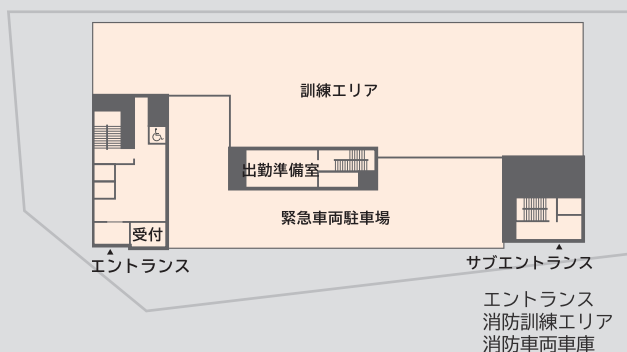
北消防署事務室
救助グループ事務室



消防職員専用エリア
仮眠室・食堂・トレーニング室等



音楽訓練室



来庁者用駐車場 10台
公用車駐車場 20台

5

4

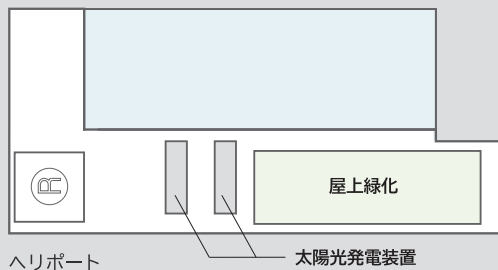
3

2

1

B1

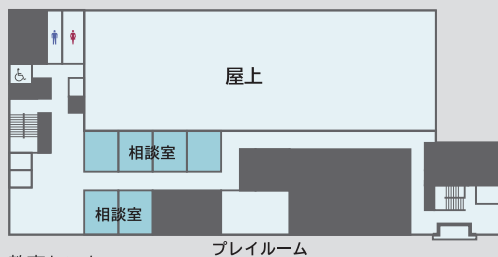
R



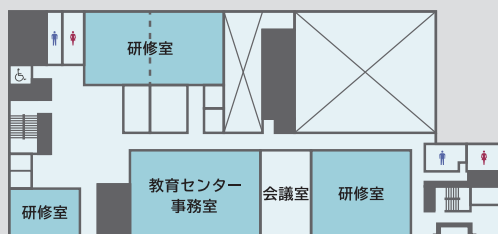
教育 センター 機能

8階に児童・生徒の使用する教育支援教室・情報科学室・研修室A(体育室)を配置しています。

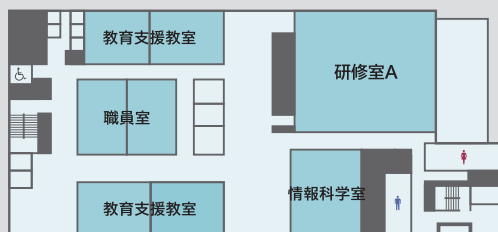
9階に教職員研修に使用する研修室と教育センター事務室、10階には教育相談に使用する相談室を配置しています。



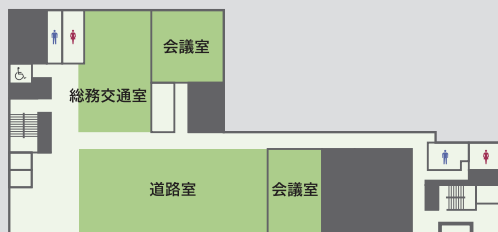
教育センター
相談室



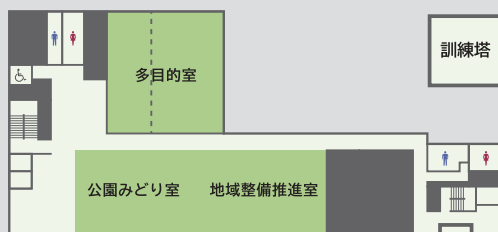
教育センター
事務室
教職員研修室



教育センター
教育支援教室
研修室A(体育室)



土木部事務室
会議室



土木部事務室
共用・多目的室



8F教育支援教室は職員室を中心として配置され児童・生徒への見守りに配慮しています。



8F研修室A 開閉可能な観覧席により様々な使い方が可能

土木部 行政 機能

6階に公園みどり室（公園・緑地の整備、管理）と地域整備推進室（都市計画道路の整備、土地区画整理事業）を配置し、7階に総務交通室（総務、公共交通、自転車駐車場）、道路室（道路等の整備、補修、維持管理）を配置しています。



6F共用・多目的室 移動間仕切で部屋の広さの変更が可能

【設計について】

施設の一部に半屋外の吹き抜けの中に消防訓練施設を設けています。

この空間は7層の吹き抜けとトラス構造による28.5mのロングスパンにより実現した大空間です。

この訓練施設は隣接する南千里駅のホームから一望でき、一般の方にも訓練の様子を見てもらうことができます。

【施工について】

地下に駐車場やピットを設けるために、地下10mまで総掘りする必要がありました。

敷地が阪急電鉄の線路に近接していることもあり、掘削する際にSMW工法により山留を行って、毎日変位に異常がないことを計測しながら作業を行いました。

(設計担当者 竹本 和弘 株式会社あい設計)